

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月 1 日
至 令和4年3月 31 日

公益財団法人 致道博物館

令和4年6月9日

概 況

令和3年度は昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症による感染者が全国的に蔓延し、その対応策として春からワクチン接種が行われ、秋には一時的に感染者の減少がみられた。しかし年末から冬期間にかけて、新種ウイルス（オミクロン株）の流行により再度多くの感染者がみられ、感染防止策を講じながら経済活動を行う現状となった。

このような状況下での令和3年度の事業概況を下記のとおり報告する。

公益目的事業1の重点事業(1)重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)は昨年度からの国庫補助による災害復旧事業で、本年度は今後の耐震設計を踏まえた応急的な復旧工事とし、令和4年5月末までの事業期間の延長と約2400万円の事業費の増額とした。重点事業(2)鶴岡市文化資源調査事業では、『御世紀』の翻刻刊行のための作業を実施した。また、酒井家庄内入部400年記念事業の一環として、『酒井家世紀』の翻刻刊行に向けての作業や、御隠殿や受付・売店の一部改修を行い、来年度に向けて準備を進めた。なお、保存管理事業では、例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、参集規模の大きい東京友の会の集い、教室、合同茶会を中止した。土曜講座や古文書講習会等は開催し延べ177名が参加受講した。

公益目的事業2の展示事業では、特別企画展(山形県・公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)9件、個展・グループ展1件、ロビー展2件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連のギャラリートーク、実演なども感染対策を施し参加者を制限しながら実施した。主な展覧会の入館者数は4～5月の「日本人形之美」展1,975名(44名/日)、6～7月「白幡進回顧展」3,115名(76名/日)、7～9月「金峯山と修験道展」2,987名(73名/日)、9～10月「藩主の宝・藩士の宝展」6,614名(140名/日)、10月～11月の「山形ゆかりの刀工展」6,503名(171名/日)であった。前半は新型コロナウイルス感染症蔓延による入館者数の減少であったが、夏から秋にかけて山形県「文化応援キャンペーン」の実施をはじめ、秋に県内外の小中学校の修学旅行が多く訪れ入館者数の増加がみられた。厳しい経営状況には変わらないが、入館者総数が27,642名(前々年比約55.6%、前年112.5%)となり、来年度の酒井家庄内入部400年記念事業を控え持ち直しつつある。なお、展覧会関連の文化庁「ARTS of the future! 事業」として10月に荘内大祭・黒川能上演(御隠殿)ライブ配信等も行い好評であった。

公益目的事業3は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、平成25年度からの国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)、及び大宝館の施設保存管理、展示、普及教育事業等を実施した。致道館では教育体験講座や研修会、また学校の課外授業での施設利用が43件970名と昨年より増加した。大宝館では夏休みイベント等を実施し、昨年ひきつづき大宝館で11月「世界糖尿病デー」、12月～2月「鶴岡冬まつり」の建物へのライトアップが行われた。

最後に、今年も明治～大正期に活躍した画家・石川静正家や故野尻佐太右衛門の遺族方などの多数の美術工芸品の寄贈を受け深謝申し上げるとともに、今後の展覧会にて公開予定である。また、長年ご支援・ご指導いただいた毛呂千鶴夫氏(鶴岡・11月)、村井光彌氏(鶴岡・1月)、小花吉彦氏(東京・2月)が逝去された。心から哀悼の意を表するとともに新型コロナウイルス感染症が終息し、4月からの「酒井家庄内入部400年記念事業」が盛会に行われることを祈念する。

1. 公益目的事業1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

1-1 重点事業

(1) 重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)

令和元年6月18日に発生した山形県沖地震(M6.7、最大震度6弱、鶴岡市街地:震度5弱)により、旧西田川郡役所では1.2階の漆喰壁や同天井張り紙などに大きな亀裂が生じた。翌7月2日には文化庁調査官が来館、被害状況を確認し修理方針を示唆された。本事業は文化庁の指導に基づき国庫補助事業として災害復旧工事を実施するもので、昨年の耐震診断に基づき耐震設計を施した復旧工事を行うこととし、近年の経営状況を鑑み応急的な耐震補強を施した工事とし、令和4年5月末までの事業期間の延長と2416万円を増額した総事業費7369万円とした。

(2) 鶴岡市文化資源調査事業

鶴岡市の補助事業として、公益性の高い文化資源を社会に還元するために、当館所蔵の歴史資料などを調査研究した。今年度は鶴岡市指定文化財『御世紀』の筆写・解読・点検・データ入力を実施し、出版に向けて校正・編集を行った。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約 50 点を解読整理した。

1-2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅・同旧鶴岡警察署庁舎の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

④史跡松ヶ岡開墾場内の一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)の管理運営(入館者対応・建物内清掃業務等)を平成 31 年 4 月より鶴岡市教育委員会より委託を受け、通年を通して開館した(入館者状況は別紙資料を参照)。

(2) 博物館資料の保存管理事業

①歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を 2 回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装・冊子資料の補修・修理、手入れなどを実施した。また、寄贈申込みのあった資料や作品について適正な受け入れと資料台帳の整備を進めた。

③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の松ヶ岡開墾記念館の収蔵・展示中の資料のリスト作成に協力した。

1-3 展示事業

(1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料及び美術工芸品の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業 他

①公開講演会(日時・場所・内容)

令和4年3月5日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区) 東京友の会の集い・講演会
講師 佐藤滋氏(早稲田大学教授・千葉県在住) 「城下町鶴岡のまちづくり」 開催予定であったが、今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止し、来年度へ延期した。

②土曜講座(日時・講師・演題)

7月3日(土)	渡部 幸氏(出羽三山神社歴史博物館学芸員)	
	「羽黒山と荘内藩」	参加者 38名
8月7日(土)	佐々木孝善氏(金峰神社宮司)	
	「金峯山とその信仰」	参加者 40名
9月4日(土)	上野由部氏(黒川能下座太夫・黒川能の里王祇会館館長)	
	「黒川能と酒井家」	参加者 35名

③中国古典講座

4月～12月の毎月7日 計8回開催予定であったが、今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

④古文書講座「もんじょ部」

日時 5月～翌年3月まで月1～2回程度開催 計15回
内容 『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方の解説や輪読、また当館所蔵文書の整理を行った。
講師 菅原義勝主任学芸員 受講生5名 延出席人数64名

⑤ その他

① 館報「致道」59号(5000部) 令和4年2月発行

(2) 伝統文化普及事業

- ①各流合同茶会は今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。
- ②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催)
5月下旬～8月上旬にかけて計15回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。
- ③「令和3年度東北文化の日推進事業」の参加(事務局 山形県県民文化スポーツ課内)
「東北文化の日」(10月最終の土・日曜日)に合わせ、10月30日～11月28日の土・日曜日の小中学生を入館料無料 参加数 計70名
- ④刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)及び庄内民俗学会の例会の会場として会議室等を提供(4月～3月)。なお、姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(3) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月を予定していたが、今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止した。
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月30日～9月4日
実習生/米沢女子短期大学・東京学芸大学の大学生 計4名
実習内容/ 美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等
- ③先賢を偲ぶ会 令和4年2月13日(日) 於:御隠殿
今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、礼拝・講話・直会を中止したが、御隠殿の床の間に祭壇を設け、ハガキの案内者や一般見学者による自主的な礼拝のみとした。

- ④東京友の会の集い 令和4年3月7日(日)於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。(前出)
- ⑤博物館資料や郷土史関係等の相談助言(通年) 相談件数 20 件
相談内容/ 書跡・古文書の解説や酒井家文書及び刀剣の保存などに関する事
- ⑥庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学会の活動に協力
- ⑦ 広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年
各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼につとめた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。特に SNS(主にツイッター)を利用し、各種情報発信のみならず、館の魅力を伝えることに努め、好評を得た。
- ⑧ 酒井家庄内入部 400 年記念事業展示への作品貸出及び解説文等の作成・協力・打合せ等
東北電力グリーンプラザ、大宝館、今井アートギャラリー、ギャラリーなご美(書の庵)通常の類似施設への作品貸出にとどまらない展示監修を含む展示協力及び準備作業を行った。

1-5 調査研究事業

- (1)文化資源調査事業(前出)
- (2)庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理
- (3)和歌・俳諧資料の調査協力

2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

2-1 展示事業

- (1)企画特別展示事業(主催事業) 於:美術展覧会場
☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、◇印:日本美術刀剣保存協会庄内支部共催
- ①☆～小さな窓から大きな世界を～礒貝吉紀ドールハウスの魅力
4月1日～4月20日(20日間・展示は2/19からの継続事業)
入場者数:一般 1,399 名/児童生徒学生 307 名/合計 1,706 名
ドールハウス作家・研究家の第一人者であった礒貝吉紀(1933-2011)の館蔵作品を一堂に出品。愛娘のために制作した「けいこの家」やロンドンお店シリーズ「紅茶専門店」などを特別展示。また、闘病中に制作していた未完の遺作「テレビ局のスタジオ(仮称)」の寄贈に伴い初公開した。春の息吹を感じながら、穏やかに芸術と向かう一時とし、期間中ギャラリートークを開催した。
- ②☆紙鳶洞コレクション 日本人形の美 4月24日～6月6日(44日間)
入場者数:一般 1,767 名/児童生徒学生 208 名/合計 1,975 名
日本の伝統文化に育まれた人形。それは様々な美術工芸の集大成であるとともに、祈りや祝いの心を託したヒトガタでもある。静岡県富士市在住の人形研究家・林直輝氏のコレクションから「造形の美」と「心の美」を備えた優品の人形 60 点を紹介した。期間中、ギャラリートークやワークショップを実施した。
- ② ☆白幡進回顧展「内なる月山」を描きつづけた画人の軌跡 6月9日～7月19日(41日間)
入場者数:一般:2,184 名/学生:198 名/小中生:733 名/合計 3,115 名
白幡進(1934-2018、鶴岡市出身、金沢美術工芸大学油絵科卒)氏の、画業の軌跡を辿る大回顧展として開催。地元庄内の美術団体「白鷺社」の会員・委員として長く運営に携わり、委員長として鶴岡の芸術文化振興に寄与した。本展では、身近な人々や風景から、内包する精神世界を描

いた晩年のテーマ「人間と生と死」まで、広く紹介。期間中、ギャラリートークなどを開催した。

- ④☆開山 1350 年記念 金峯山と修験道ー語り継ぐ歴史ー 7月22日～8月31日(41日間)
入場者数: 一般 2,665 名/児童生徒学生 322 名/合計 2,987 名
古くは多くの修験者が祈祷・参籠を行い、今も人々に親しまれる祈りの山・金峯山。庄内を治めた大名・最上氏や酒井氏に保護され、本社修復事業も行われた。開山 1350 年を迎えた節目の年、県文・如意輪観音坐像など貴重な資料計 65 点を展示し、出羽三山や鳥海山とともに庄内の修験の山として刻まれた長久の歴史を見つめ直した。期間中に講座やギャラリートークを開催した。
- ⑤☆酒井家庄内入部 400 年記念プレ企画展 藩主の宝、藩士の宝 9月3日～10月19日(47日間)
入場者数: 一般 4,540 名/児童生徒学生 2,074 名/合計 6,614 名
2022 年、酒井家が庄内に入部して 400 年を迎える。その節目の記念事業に先立ち開催するプレ企画展として開催。旧藩主酒井家はじめ、旧庄内藩士の家に伝来する武具や掛け軸、茶道具類を出品。重文「短刀銘吉光」、県文・後水尾天皇三大字「思無邪」など 65 点を紹介した。御隠殿にて黒川能実演や「刀剣乱舞 -ONLINE-」とのコラボイベントやギャラリートークを実施した。
- ⑥☆◇日本名刀展シリーズ 山形 ゆかりの 刀工 10月22日～11月28日(38日間)
入場者数: 一般 3,655 名/児童生徒学生 2,848 名/合計: 6,503 名
室町時代の月山派をはじめ、県内には名だたる刀工が多く活躍した。本展では古月山派をはじめ、幕末期の新々刀の祖・水心子正秀(赫田)や大慶直胤(山田)、清麿の弟子・斎藤清人(福田)、米沢藩や庄内藩のお抱え刀工に加え、現在山形市在住の上林恒平刀匠(県文化保持者・鶴岡出身)までの山形ゆかりの刀剣や鐔など 49 点を出品。上林刀匠による実演や初心者向けの刀剣講座も実施した。
- ⑦☆新収蔵品展～絵画・書跡・錦絵など～ 12月18日～R4. 2月15日(45日間)
入場者数: 一般 833 名/児童生徒学生 142 名/合計 975 名
近年寄贈された美術工芸品の中から、江戸時代後期から昭和時代初期までの画人や書家による作品を紹介。「洛中廷内遊興図屏風」(六曲一双)、太田義一「松竹梅草花図欄間」、頼山陽「山水図」、副島種臣「四大字・敬天愛人」から錦絵「庄内朝日嶽鶴之助」(歌川國暉)など計 38 点を出品した。
- ⑧☆歴史の扉4 鶴ヶ岡城ー守り、働き、暮らす拠点ー 2月19日～3月31日(40日間:展示は 4/10 までの継続事業)
入場者数: 一般 1,869 名/児童生徒学生 254 名/合計 2,123 名
江戸時代、庄内藩の政庁として機能した鶴ヶ岡城。中世以来、庄内を治める中心として、何度も増改築が繰り返されてきた。本丸には藩主が居住し、三の丸およびその周辺には藩士が集住して仕事を行い、城下町を整備して町民の暮らしに寄り添った。「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに歴史を掘り起こす展示をした。県文・鶴ヶ岡城道具渡目録、市文・鶴ヶ岡城襖絵「鶴図」ほか計 44 点を出品した
- ⑨☆第 28 回 鶴岡雛物語 3月1日～4月3日(34日間)
入場者数: 一般 1,799 名/児童生徒学生 265 名/合計: 2,064 名
城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識した。旧庄内藩主酒井家所蔵品や市内旧家から寄贈の江戸時代中期から明治・大正時代にかけての雛人形や、大名家へのお輿入れに持参した雛道具を計 50 点出品。併せて鶴岡市内の菓子店の協力によって当地方独特の雛菓子も一堂に展示、特別企画「雅の競演ー大井淑子の典雅な書・川内由美子の風雅な雛道具(55 組)ー」を開催した。期間中、雛菓子づくりのイベント等を実施。

(2) 個展・グループ展示事業 於: 美術展示会場

- ①第 42 回 鶴岡書道会会員展(共催) 12月1日～12月14日(12日間)
入場者数: 一般 448 名/児童生徒学生 122 名/計 580 名
昭和 8 年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品 27 点を展示鑑賞した。

(3) ロビー展示事業 ※主催は各団体 於:講座室・ロビー

①第14回「砂の会」作品展

10月31日～11月5日(6日間)

入場者数:一般700名/児童生徒学生231名/計931名

加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員3名が制作した作品計30点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

② 第17回 東洋蘭展 (鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共催) R4.3月18日～3月20日(3日間)

入場者数:一般346名/児童生徒学生33名/計379名

日本春蘭と中国春蘭あわせて約100鉢、蘭に因む掛軸額装作品2点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

4月24日(土) 於:展示会場 「日本人形の美」展

ギャラリートーク 講師:林 直輝氏(日本人形文化研究所所長) 参加者計30名

6月6日(日) 於:展覧会場・野外構内 「日本人形の美」展 ギャラリートーク及び

風絵パフォーマンス 講師:林 直輝氏(日本人形文化研究所所長) 参加者計50名
You Tube 配信 (※ARTS of the future事業関連)

6月12日(土) 於:展示会場 「白幡進回顧展」対話形式によるギャラリートーク「画人と作品」
講師:櫻井徳喜氏(元中学校校長:大学時代後輩)・齋藤拓氏(高校教員:高校時代の教え子)
参加者計40名

6月19日(土) 於:展覧会場 「白幡進回顧展」芸術談義「江川満の、白幡芸術を勝手に解釈」
講師:江川 満氏(陶芸家) 参加者計57名

8月28日(土) 於:展示場 「金峯山と修験道」 ギャラリートーク

講師:菅原義勝主任学芸員 参加者計20名

10月2日(土) シンポジウム「金峯山の歴史を古文書から読み解く」於:鶴岡市立図書館2階講座室

菅原義勝「金峯山所蔵文書について」/田中大輔「金峯山と藩主・藩士の参詣」

阿部宇洋「金峯山と民衆の祈願」/保科文俊「金峯山の碑伝からみる修験修行」

酒井英一「金峯石・髻額」 参加者計46名 (※ARTS of the future事業関連)

9月25日(土)・10月9日(土) 於:展覧会場 「藩主の宝・藩士の展」 ギャラリートーク

講師:本間豊学芸部長 参加者計45名

10月16日(日) 黒川能上座の上演(狂言「柿山伏」能「羽衣」)於:御隠殿

ライブ配信及び旧警察署1階ホール及び展示場1階にて上映モニター配置
(※ARTS of the future事業関連)

10月24日(日) 刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催) 於:旧鶴岡警察署ホール

講師:柳川清次氏(日本美術刀剣保存協会評議員・無鑑査 研師) 参加

10月31日(日)/11月21日(日) 於:旧鶴岡警察署庁舎一階ホール 「山形ゆかりの刀工」展

「はじめての刀剣講座～鑑賞からお手入れ方法まで～」

講師：矢口秀春氏（日本美術刀剣保存協会庄内支部理事）

参加者計 32 名

11 月 7 日（日）/14 日（日）/28 日（日） 於：展覧会場 「山形ゆかりの刀工」展

上林恒平刀匠による「銘切り」の制作実演

R4. 3 月 12 日（土） 於：展覧会場「歴史の扉 鶴ヶ岡城展」ギャラリートーク

講師：菅原義勝主任学芸員

参加者計 27 名

※日本美術刀剣保存協会庄内支部との共催事業として

10 月 24 日（土） 於：御隠殿 斎藤清人碑前祭 祭礼ほか） 参加者 計 21 名

（2）出版事業

各展覧会図録（「日本人形之美」・「白幡進回顧展」・「金峯山と修験道」）と出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

（3）広報事業

①広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット（ホームページ・ツイッター）などを活用して周知を図った。

3. 公益目的事業 3 （事業内容～国指定史跡旧致道館（旧庄内藩校）や鶴岡市指定文化財大宝館の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業）

3-1 史跡旧致道館（旧庄内藩校）の保存管理活用事業

指定管理制度により、鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

（1）施設保存管理事業

- ①外構管理 除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防（駆）虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃・浄化を行った。
- ②建造物管理 講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備（自動火災報知器・消火器）の保守点検を実施した。平成 25 年度から夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は 1 回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全・安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図っている。

（2）展示事業

- ①藩校致道館の沿革・教育・制度・積奠・施設などに関する資料を展示、随時キャプションの改訂を行った。
- ②御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語の素読」を BGM で流し、床の間には致道博物館所蔵の致道館に係る掛軸を展示した。
- ③「庄内藩と戊辰戦争、徳の交わり」の展示を引き続き行った。

（3）普及教育事業

① 藩校致道館教育体験教室・講座

8 月 1 日（日）「江戸時代の学校『致道館』の学びを体験しよう！」をテーマに、小学生から一般を対象にした「庄内論語素読体験講座」を開催した。（参加者 13 名）

② 「孔子祭・致道館の日」式典 （主催：致道館文化振興会議）

9月25日(土) 於: 荘内神社参集殿 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場変更)

内容/祭典・祝文奉読・論語素読・講経、講演、児童生徒論語体験作文発表会

③ 研修会・講座 (主催・各種団体)

5月15日	慶応義塾大学鶴岡キャンパス「鶴岡文化論」	20名
6月18日	KIDS・DOME・SORAI職員研修	7名
6月25日	産業技術短期大学校庄内校研修	12名
6月8日	鶴岡市観光ボランティアガイド研修	5名
7月1日	新採教員初任者研修 主催 鶴岡市教育委員会	30名
7月27日	朝陽第五小学校職員研修	21名
9月26日	つるおか文化財めぐり(親子編)	30名
10月5日	つるおか文化財めぐり(一般編)	18名
10月31日	鶴岡商工会議所酒井家ゆかりの町中めぐり	35名
4月～3月	三瀬保育園年長組「庄内論語の素読」年間12回 延べ225名 講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 以上受講者 計403名	

※その他、小学校修学旅行16校(県内)、中学校修学旅行5校(県内1校、県外4校)
高等学校修学旅行2校(県外)

③学校の授業への協力 学校の授業として(「藩校致道館についての学習」と「庄内論語の素読」)で活用 講師 富樫恒文統括文化財保護指導員
鶴岡市内26校中11校12学年の児童567名

④視察・来館者に対する藩校致道館に関する解説説明、助言相談

⑤旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。

⑥朝陽第三小学校 「日本文化伝統クラブ」庄内論語の素読 講師

⑦山形大学農学部 「地域から学ぶ 致道館の教育精神と学びの継承」講師

⑧広報活動 新聞・テレビ等の報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に対応した。

3-2 鶴岡市指定文化財大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

- ① 外構管理 建物(玄関)周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃、建物周辺の除雪
- ② 建造物並びに館内管理・建物周囲点検、高山樗牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、バルコニー除雪。防災設備(自動火災報知機・消火器)の保守点検を実施した。
・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。
・消防訓練は1月29日に実施し、予防災害対策を確認した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の対応
前年度に引き続き入館者への対応や新型コロナウイルス感染症対策について以下の通り実施した。受付にて入館者へ連絡先記入のお願い、手指消毒液の設置、館内の換気、受付カウンターや手摺等の消毒、順路パネルの設置、新型コロナウイルス感染症対策ポスターの掲示、当面の展示解説中止または資料等を活用した必要最小限の解説、振揺万力の使用禁止

(2) 展示事業

- ① 第44期常設展示(令和3年4月1日～令和4年3月29日)
第43期で企画展を行った肖像写真家 五十嵐與七を常設展に
【展示終了人物】藤沢周平(文学)、第28代行司 木村庄之助(相撲)、伊藤岩吉(織物)
【移動展示人物】五十嵐與七(写真)、中田喜直(音楽) 横光利一1階展示(文学)、森敦(文学)、本多猪四郎(映画) 第47代横綱柏戸(相撲)
- ② 第44期企画展示
「～生誕150年～明治の文豪 高山樗牛の生涯」(令和3年4月1日～令和4年3月29日)
文学者・文芸評論家 高山樗牛 明治4年(1871)～明治35年(1902) 明治時代の文学界に多大な影響力を及ぼしながら31歳で夭折した高山樗牛の生涯について、高山家からの寄託資料

などを交えて展示した。

③ 第1期横光利一展示 「横光と鶴岡」

2階展示室において5期「夜の靴・終焉・その後」から1期「横光と鶴岡」へ展示替えを実施。

④ 特別展示

2階西展示室では継続して「庄内戊辰の役～酒井了恒率いる第2番大隊の戦い～」を展示

(3) 普及教育事業

① イベント

・大宝館夏休みイベント

【テーマ】「鶴岡公園石碑クイズラリー」 【期間】令和3年8月5日～8月22日

【対象】鶴岡市内の小学生及びその家族 【参加人数】167人

【内容】大宝館に展示されている人物を、鶴岡公園の石碑やモニュメントで探すクイズ

・大宝館ライトアップ

「世界糖尿病デーブルーライトアップ」(令和3年11月12日～18日)

「鶴岡冬まつり 大宝館ライトアップ」(令和3年12月23日～令和年2月27日)

② 広報活動

新聞・テレビ・コミュニティ誌など報道機関への資料提供や取材協力依頼に務め周知を図った。

大宝館企画展については、読売新聞社・コミュニティ新聞社・さくらんぼテレビジョン・

山形新聞社から、横光利一展示についてはコミュニティ新聞社、夏休みイベントについては

山形新聞社、梅の開花については、荘内日報社。山形新聞社・TUY からそれぞれ取材を受けた。

また、「ことりっぷ」のウェブ版で「大宝館を含む鶴岡公園周辺施設の紹介」の取材を受ける。

④ 配布物

「第44期大宝館展示」 マスコミ各社・周辺施設・デガム・旅行会社各社

「大宝館夏休みイベント」 鶴岡市内小学校・周辺施設・マスコミ各社

⑤ 解説業務

新型コロナウイルス感染症対策のため、館内での解説業務は基本中止しているが、学校関係等の団体の場合、要請に応じて対応している。また、接触機会の軽減のため、学年ごとの理解度に合わせた資料を作成し、配布して解説の補足や代替えとする。

⑥ その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ

4. 収益事業1 (事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作って販売を行った。

刀剣乱舞コラボグッズ及び酒井家庄内入部400年記念グッズを作成し、店頭及びオンラインショップで受注販売・一般販売を行った。また、4色展開記念パーカー・4色展開記念Tシャツ(受注のみ)、エコバック(4色展開)、記念ステッカー2種類、クリアファイルも作成販売した。

(2) その他

庶務の概要

令和4年3月31日現在

1. 役員に関する事項

五十音順・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事11名)			評議員	金井 昌弥	(株)荘内銀行取締役・常勤等委員
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会長	〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとりあ館長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
〃	伊藤 彰	(公財)東北振興研究所理事長	〃	齋藤 拓	白鷹社委員長
〃	国井 美保	鶴庄交価値創造研究所理事	〃	坂尾 聡	田川地区高等学校校長会代表(鶴岡南高校長)
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	布川 敦	鶴岡市教育委員会教育長
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員・東北公文大評議員	〃	橋本 政之	致道館文化振興会会長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	堀 誠	松ヶ岡開墾場理事長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会長	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館代表理事
〃	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	〃	渡辺 琢治	(株)きらやか銀行鶴岡中央支店長
〃	三浦 裕美	鶴岡市教育委員会社会教育課長	(監事2名)		
〃	三矢 正士	致道館文化振興会議事務局長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役会長
(評議員15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	生島 信行	山形県立博物館長	(顧問3名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会長	顧問	皆川 治	鶴岡市長
〃	上野 隆一	出羽商工会会長	〃	田中 尹	前鶴岡織物工業協同組合理事長
〃	大沼 賀世	県文化財審議員・寒河江市文化財審議員	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長			

2. 役員会に関する事項

■理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和3年6月4日	(1) 令和2年度事業報告の件 (2) 令和2年度収支決算の件 (3) 令和2国指定文化財管理費補助事業収支決算及び令和3年度同事業収支予算の件 (4) 令和3年度重要文化財(建造物)旧西田川郡役所美観向上整備事業報告及び収支決算の件 (5) 令和2年度重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)報告及び収支決算の件 (6) 定時評議員会開催の日時・場所・議案承認の件 (7) 任期満了に伴う理事推薦承認の件 (8) 評議員補充候補者推薦の件 (9) ARTS for the future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の支援事業)申請及び本事業に関し特定資産定期預金取崩の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 承認 了 承認 可決承認
令和4年6月4日	(1) 令和3年度補正予算の件 (2) 令和4年度事業計画の件 (3) 令和4年度収支予算の件 (4) 令和4年度重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)の件 (5) 特定資産定期預金取崩の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

■評議員会

開 会 月 日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
令和3年6月25日	(1)議事録署名人選出の件 (2)令和2年度事業報告の件 (3)令和2年度収支決算の件 (4)任期満了につき理事選出承認の件 (6)評議員補充選任の件 ※その他（理事会決議事項の報告） ①令和2年度国指定文化財管理費補助事業報告及び収支決算並びに令和3年度同事業事業計画及び収支予算の件 ②令和3年度重文旧西田川郡役所美観向上整備事業報告及び収支決算の件 ③令和3年度重文旧西田川郡役所（建物）保存修理事業（修繕）の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承 了承

■執行役会議 毎月1回開催（4月12日、5月6日、6月1日、7月8日、8月10日、9月13日、10月13日、11月10日、12月14日、令和3年1月13日、2月1日、3月9日） 計12回

■監査 5月26日（令和2年度会計監査）

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛 所	内 容	備 考
4月1日	山形県知事	令和3年度山形県博物館共催事業申請書	4月1日付で承認
4月1日	山形県知事	令和3年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
4月1日	鶴岡市教育委員会	令和3年度教育関係事業（致道博物館展示事業）共催承認申請書	4月1日付で承認
4月1日	鶴岡市長	令和3年度致道博物館展示事業共催負担金交請求書	
4月1日	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和3年度文化団体等連携支援事業（展覧会事業）共催申請書	4月1日付で承認
4月1日	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和3年度文化団体等連携支援助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
4月1日	鶴岡市長	令和3年度補助金等交付申請書（令和3年度鶴岡市文化資源調査保存事業）	4月1日付で交付決定
4月1日	山形県知事	令和3年度国指定文化財（旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/酒井氏庭園/旧鶴岡警察署庁舎）管理費補助事業申請書（4件）	4月1日付で交付決定
4月1日	鶴岡市長	令和3年度国指定文化財（旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園）管理費補助事業申請書	4月1日付で交付決定
4月1日	文化庁審議官	主任技術者の届出について（重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉）	
4月1日	山形県知事	令和3年度山形県文化財保護事業補助金交付申請書（重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉）	4月1日付で交付決定
4月1日	鶴岡市長	令和3年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書（同上）	4月1日付で交付決定
4月1日	鶴岡市長	普通・行政財産借受申請書 及び 財産貸付料減免申請書（松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・農業関連資料、農具等の保管）	
4月1日	文化庁審議官	係官派遣申請書（重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉）	
4月1日	県文化振興文化財課長	職員の派遣について（同上）	
4月8日	山形県知事	令和2年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金実績報告書（同上）	4月19日付で確定通知
4月8日	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書（同上）	4月19日付で確定通知
4月8日	鶴岡市長	令和2年度補助事業等実績報告書（同上）	4月8日付で確定通知

4月8日	山形県知事	令和2年度文化資源活用事業費補助金（観光拠点整備事業）実績報告書（重文旧西田川郡役所美観向上整備事業）	4月19日付で確定通知
4月9日	鶴岡市長	令和2年度補助金保存事業実績報告書（鶴岡市文化資源調査保存事業）	4月16日付で確定通知
4月12日	文化庁長官	名勝酒井氏庭園の現状変更（石橋補修）について	4月12日付け認可
4月30日	文化庁長官	名勝酒井氏庭園の現状変更（石橋補修）の終了報告について	
4月30日	山形県知事	令和2年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書	5月31日付で外観決定
4月30日	鶴岡市長	令和2年度致道博物館展示事業実績報告書	
4月30日 3月31日付で提出	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	令和2年度文化団体等連携支援事業実績報告書	6月6日付で外観決定
5月27日	文化庁	芸術文化振興費補助金申請 (コロナ禍を乗り越えるための芸術文化活動の充実支援事業/ARTS of the future)	7月27日付け承認
6月23日	(公財)山形県生涯学習文化財団	令和3年度文化団体等連携支援助成金請求書	
6月23日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書（消火器具）	6月23日付け届出
6月23日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出（お願い）	6月29日付け交付
6月29日	山形県教育委員会	所在の場所変更届 （「金峯山と修験道展」出品の県文銅造如意輪観音坐像）	7月7日付けで受理
6月29日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届 （「金峯山と修験道展」出品の市文・鰐口）	
7月6日	鶴岡市教育委員会	令和3年度補助金等状況報告書（令和3年度鶴岡市文化資源調査保存事業-7月中旬報告）	
7月28日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書（自動火災報知設備）	7月28日付届出
8月9日	山形県教育委員会	所在の場所変更届（「藩士の宝・藩士の宝展」出品の県文「狩衣・唐織」（黒川能装束）2着）	8月17日付け受理
8月9日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届（「藩士の宝・藩士の宝展」出品の市文三村常和「絹本着色薬師像」・同「神農像」2幅）	
9月27日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届（「山形ゆかりの刀工展」出品の市文「刀工銘兼國」・同「出羽國住池田一秀入道竜軒」2口）	
9月27日	鶴岡市長	令和2年度鶴岡市文化財保護事業費補助金交付申請書（同上）	6月1日付で外観決定
10月1日	山形県教育委員会	令和3年度山形県文化財保護事業費補助状況報告（重要文化財〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉）	
10月1日	山形県教育委員会	令和3年度山形県国指定文化財（略）管理費補助事業の状況報告	
10月6日	鶴岡市長	令和3年度補助金等状況報告書（令和3年度鶴岡市文化資源調査保存事業-10月中旬報告）	
10月28日	文化庁長官	計画変更承認申請書 （令和3年度重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉）	11月1日で承認
11月1日	山形県知事	令和3年度山形県文化財保護事業費補助金計画変更承認申請書（同上）	11月1日付け承認
11月1日	鶴岡市長	令和3年度補助事業等変更申請書（同上）	11月1日付け承認
11月29日	鶴岡市消防長	消防用施設等（自動火災報知設備他）点検報告書（庄内米作り収蔵庫）	11月29日付で受理
12月21日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書（今年度第1回防火訓練実施計画）	12月21日付で受付
12月21日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書（重要文化財旧渋谷家住宅内の囲炉裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書）	12月22日付で承認
12月31日	文化庁長官	芸術文化振興費補助金（コロナ禍を乗り越えるための芸術文化活動の充実支援事業）実績報告書（電子申請）	2月10日付け確定通知
R3. 1月10日	鶴岡市長	令和3年度補助金等状況報告書（令和3年度鶴岡市文化資源調査保存事業-中間報告）	

1月11日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第67回文化財防火デー/第2回防火訓練実施計画)	1月11日付で受付
1月12日	鶴岡市教育委員会	文化財に係る国庫補助事業における新型コロナウイルス感染症に伴う今後の対応について(文化庁からの指導指針)	
1月25日	文化庁長官	令和3年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金交付申請書-重文(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)	
2月8日	鶴岡市消防長	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検報告書(動力ポンプ)	2月8日付け受理
3月25日	文化庁長官	重要文化財の毀損の届出(旧鶴岡警察署庁舎内漆喰壁の亀裂)	
3月26日	文化庁長官	名勝酒井氏庭園の毀損(赤松の倒木)について	
3月26日	山形県知事	令和2年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(国文化財4件)	4月28日付で確定御
3月26日	鶴岡市長	令和2年度補助金等実績報告書(鶴岡市国指定文化財管理費補助事業-国文化財4件)	4月1日付で確定御

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
2月11日～5月10日	史跡藩校致道館	展示資料として《白井西郭筆七言絶句「黄河曲裡」》 1点
4月1日～R4. 3月31日	県立金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 17点
4月1日～R4. 3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～R4. 3月31日	山形県立博物館	常設展示に《吹浦遺跡 縄文土器》1点
4月1日～R4. 3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展「最上川は語る」に《ハネバンドリ》 1点
4月1日～R4. 6月7日	(公益)日本相撲協会 相撲博物館	《泉滝福治使用の化粧廻し》 1点
4月1日～5月30日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 鰍図 自画賛》 1点
4月5日～6月30日	米沢市立上杉博物館	「上杉鷹山の生涯」展に《荻生徂徠像》・《オロシヤ掛船》・《米沢興讓館之図》 計3点
5月27日～9月3日	長野県立美術館	「10Mame Kurugouchi」展に《ハネバンドリ》 1点
5月29日～8月4日	史跡藩校致道館	展示資料として《酒井忠徳筆 伯夷叔齊図》 1点
6月1日～7月30日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 七言絶句 気旺頓知…》 1点
8月 5日～10月30日	史跡藩校致道館	展示資料として《酒井忠篤筆 五大字 忠恕而》 1点
8月1日～9月30日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 四大字 萬古高風》 1点
9月29日～12月20日	本間美術館	「江戸の風景画」展に《司馬江漢 鉄砲洲富士遠望図》・《狩野了承 土峯真景望倉沢図》 計2点
10月1日～11月30日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 七言絶句 揚花落盡…》 1点
12月2日～2月28日	史跡藩校致道館	展示資料として《芳賀剛太郎筆 論語 学而第一》より 1点
10月2日～R4. 3月18日	鶴岡アートフォーラム	「庄内の美術家たち17 昭和の日本画家 太田大仙子・真島元枝・成澤翠映」に、太田《春暖》、真島《母と子》、成澤《牛》他 計20点
12月12日～R. 4月24日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 七言絶句 従軍行》 1点
2月5日～4月20日	松ヶ岡開墾記念館	展示資料として《黒崎研堂 蘭図 自画賛 屋布の中に》 1点
2月27日～	史跡藩校致道館	展示資料として犬塚甘古筆「隸書 積金箴言」(司馬温公家訓) 1点
3月18日～	鶴岡市立藤沢周平記念館	企画展「藤沢周平が描いた庄内藩」に《戦功覚書き》、《南洲翁遺訓初版》、《凌霜帖 模写》 計3件5点

5. そ の 他

月日	主 な 事 項
4月 6日	文化庁・結城啓司調査官来館、重文旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) について現地指導。
4月14日	県文化振興・文化財活用課の令和2年度重文旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) の書類他検査。
4月26日	鯉旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) の工事請負業者選定の入札会を行い、(株)マルゴが落札。
5月19日	県文化振興・文化財活用課による令和2年度山形県博物館事業(鯉絵轅) 共催負担金の会計検査。
6月1日	鯉旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) のため、旧西田川郡役所を閉鎖。
6月9日	金峯神社古文書調査に学芸部が参加。6月20日も実施。
7月21日	重文旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) に、文化庁・山形県・鶴岡市教委・文建協を交えたオンライン会議の実施。
7月22日	県立鶴岡中央高校の生徒5名のインターンシップを実施(7/29迄)。
8月27日	重文旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) に、文化庁・山形県・鶴岡市教委・文建協を交えた 第2回オンライン会議の実施。
9月5日	重文旧渋谷家住宅の茅葺き屋根の差し茅作業始まる(9/11まで)
10月6日	荘内大祭ライブ配信。こんのすけ文化財散歩。
10月16日	御隠殿にて黒川能(上座) の上演(狂言1番・能1番) し、ライブ配信・館内放映。
10月22日	埼玉・谷口氏より野尻左太右衛門作品(彫刻・油絵他) 計30点寄贈される。
11月6日	東京・丸島和洋氏より書状(白岩殿宛 羽黒山下旬長吏 掛軸) を寄贈される。
10月24日	刀匠藤原清人碑前祭(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催/旧鶴岡警察署庁舎にて)。
12月27日	第1回防火訓練(避難・通報訓練) 11名参加。
1月13日	重文旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始(週2回、3月20日まで実施)。
1月26日	第2回防火訓練(総合訓練) 11名参加
2月13日	「先賢を偲ぶ会」は御隠殿に祭壇を設け、来館者の自由拝礼とした。
2月21日	「友の会世話人会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、資料を配布した。
2月18日	御隠殿 改修工事始まる(2/22迄)。
3月15日	深夜の暴風のため、名勝酒井氏庭園内の赤松が倒木した。4月下旬に処理。
3月16日	午後11時30分に福島県沖地震が発生、重文旧鶴岡警察署庁舎内一部に被害が生じた。
3月25日	令和3年度旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧) の竣工検査を実施。

資料-1 入館者数(月別) ※前年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各施設4/6～5/10臨時休館

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一 般			学 生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者		
4 月	3年度	1,208	75	341	63	101	182	44	2,014
	前年度	108	0	95	13	0	10	9	235
5 月	3年度	918	77	274	50	11	93	45	1,468
	前年度	241	0	197	6	1	19	36	500
6 月	3年度	762	63	426	70	127	392	194	2,034
	前年度	835	0	310	32	127	25	50	1,379
7 月	3年度	1,205	184	292	65	1	393	161	2,301
	前年度	1,876	135	320	55	11	64	67	2,528
8 月	3年度	1,444	76	329	113	10	131	51	2,154
	前年度	1,636	137	235	92	41	122	30	2,293
9 月	3年度	2,090	92	437	135	13	546	60	3,373
	前年度	2,170	21	246	117	40	254	86	2,934
10 月	3年度	2,280	159	353	196	5	2,470	272	5,735
	前年度	2,604	432	324	68	214	885	157	4,684
11 月	3年度	1,874	311	295	606	15	1,507	217	4,825
	前年度	2,617	644	310	93	2	1,131	161	4,958
12 月	3年度	377	36	157	18	0	114	24	726
	前年度	333	84	130	96	4	7	20	674
1 月	3年度	216	77	111	9	0	109	25	547
	前年度	108	0	122	16	5	51	21	323
2 月	3年度	235	192	167	27	0	7	9	637
	前年度	499	0	337	36	0	120	72	1,064
3 月	3年度	941	21	532	136	2	97	99	1,828
	前年度	1,645	37	771	147	5	287	95	2,987
合 計	3年度	13,550	1,363	3,714	1,488	285	6,041	1,201	27,642
	前年度	14,672	1,490	3,397	771	450	2,975	804	24,559

■松ヶ岡観覧施設 ※令和2年度より入館料改定

(単位:名)

月	年度	一 般		学 生	小中学生	招 待	合 計
		個人	団体				
4 月	3年度	145	0	0	12	74	231
	前年度	2	0	0	0	14	16
5 月	3年度	156	0	0	18	2	176
	前年度	42	0	0	0	0	42
6 月	3年度	116	0	0	73	39	228
	前年度	117	0	0	7	13	137
7 月	3年度	169	0	0	19	11	199
	前年度	201	0	0	10	12	223
8 月	3年度	167	0	0	31	11	209
	前年度	174	0	1	15	0	190
9 月	3年度	143	0	0	87	80	310
	前年度	214	30	0	7	30	281
10 月	3年度	301	0	0	86	61	448
	前年度	304	41	9	137	9	500
11 月	3年度	234	24	59	78	67	462
	前年度	128	25	0	5	2	160
12 月	3年度	47	22	0	36	9	114
	前年度	22	0	0	0	2	24
1 月	3年度	8	0	0	3	8	19
	前年度	4	0	0	2	23	29
2 月	3年度	4	0	0	0	9	13
	前年度	21	0	0	0	58	79
3 月	3年度	25	0	0	2	7	34
	前年度	59	0	0	6	2	67
合 計	3年度	1,515	46	59	445	378	2,443
	前年度	1,288	96	10	189	165	1,748

資料－１ 入館者数(月別) ※前年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各施設4/6～5/10臨時休館

■庄内藩校 致道館

(単位:名)

月	年度	一 般	学 生	幼 少 中	合 計
4 月	3年度	923	8	65	996
	前年度	99	4	6	109
5 月	3年度	745	20	83	848
	前年度	129	0	6	135
6 月	3年度	627	2	279	908
	前年度	394	2	15	411
7 月	3年度	932	8	60	1,000
	前年度	1,030	8	34	1,072
8 月	3年度	1,045	22	118	1,185
	前年度	1,011	22	62	1,095
9 月	3年度	1,162	13	70	1,245
	前年度	1,542	4	274	1,820
10 月	3年度	1,528	125	347	2,000
	前年度	2,004	8	412	2,424
11 月	3年度	1,355	379	957	2,691
	前年度	1,536	2	554	2,092
12 月	3年度	277	4	88	369
	前年度	414	4	8	426
1 月	3年度	147	0	22	169
	前年度	74	1	46	121
2 月	3年度	182	2	32	216
	前年度	191	0	38	229
3 月	3年度	451	12	34	497
	前年度	549	14	46	609
合 計	3年度	9,374	595	2,155	12,124
	前年度	8,973	69	1,501	10,543

■大宝館

(単位:名)

月	年度	一 般	学 生	幼 少 中	合 計
4 月	3年度	1,160	21	160	1,341
	前年度	106	3	14	123
5 月	3年度	728	8	79	815
	前年度	148	2	14	164
6 月	3年度	455	6	248	709
	前年度	313	5	16	334
7 月	3年度	784	11	39	834
	前年度	773	5	27	805
8 月	3年度	849	17	168	1,034
	前年度	769	13	37	819
9 月	3年度	1,016	17	36	1,069
	前年度	1,192	5	92	1,289
10 月	3年度	1,271	127	258	1,656
	前年度	1,357	37	79	1,473
11 月	3年度	967	44	501	1,512
	前年度	1,120	5	142	1,267
12月	3年度	234	14	3	251
	前年度	202	4	3	209
1月	3年度	232	1	13	246
	前年度	62	2	8	72
2月	3年度	351	7	4	362
	前年度	214	4	19	237
3月	3年度	566	21	35	622
	前年度	489	10	30	529
合 計	3年度	8,613	294	1,544	10,451
	前年度	6,745	95	481	7,321

資料-2 致道博物館 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,509	32,328	118,837
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
平成29年(2017)	45,676	4,914	50,590
平成30年(2018)	44,231	4,184	48,415
平成31年(2019)	45,590	4,148	49,738
令和2年(2020)	20,363	4,196	24,559
令和3年(2021)	19,828	7,814	27,642
総 計	4,820,114	1,352,247	6,172,361

*1 昭和25年6月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～翌年3/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

*5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/6～5/10臨時休館

資料-3 友の会会員数

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
令和3年度	224	100	1,251	51	147	2,116	3,889
令和2年度	223	91	1,094	53	158	2,107	3,726
増 減	1	9	157	△ 2	△ 11	9	163

(単位:名)